

日本語教育部

■2018 度

日本語教育部では、1年に春学期と秋学期の2回日本語コースを提供し、本学に在籍する留学生や各部局の留学プログラムに対応している。このほか、日本語教育関連プロジェクトや各種の留学プログラムの企画・運営も行っている。

▼日本語サポーターの日本語クラス参加

2013年度より日本人学生による留学生支援や留学生との交流の促進を目的に日本語サポーターバンク制度を取り入れている。国際教育センターホームページ上で日本語サポーター募集クラスを公開し、日本人学生の日本語クラスへの参加の機会を提供している。2018年は様々な学部に所属する学生計24名が新規登録をし、主に初中級レベルのクラスに参加した。前期後期と年間を通して参加した学生や、コース終了後も留学生との交流を続ける学生もいた。

<http://www.isc.ynu.ac.jp/support/bank/>

▼学内 SS プログラム生等の特別クラスの開催

- ・2019年2月14日に半沢が華東師範大学 MBA コース学生14名に対し、“Introduction to Japanese Language”と題した講義を担当した。
- ・2018年度秋学期に日越大学 MBA プログラムの学生17名を受け入れ、特別クラスおよび開講中のクラスで学生の受け入れをした。

▼学内行事「第8回 YNU 日本語スピーチ大会」開催

平成30年12月11日、教育文化ホール大集会室にて第8回 YNU 日本語スピーチ大会を開催した。本学で学ぶ留学生10名が「今〇〇に伝えたいこと」というテーマでそれぞれの思いを日本語で表現した。当日は留学生を含む本学学生、本学教職員の他、日ごろ留学生支援に携わるボランティアの方々等総勢150名が来場した。審査の結果、最優秀賞は中国からの留学生で、JOY プログラム生

のコウ・ズイさんが受賞した。なお、今回のスピーチ大会は国際交流の機会を促進するという目的のもと「国際理解：国際交流における日本語の役割」クラスの受講者に原稿のチェックやスピーチの練習の手伝いをお願いし、当日もスピーチ大会の運営に携わってもらった。スピーチ大会当日の様子は本大会後援でもある読売新聞にて（12/13）紹介された。

2. 日本語教育コース

▼全学講習日本語コース／JOY 日本語プログラム

「全学講習日本語コース」は、研究生を含む本学の留学生対象のコースである。「JOY 日本語プログラム」は、短期交換留学プログラムの学生を対象とするプログラムで、国際交流科目として開講された日本語科目である。研究生や大学院生が修了条件を満たした場合には、修了証を発行している。尚、本プログラムの概要、受講手続等については、年2回『日本語プログラムパンフレット』を発行し、国際教育センターホームページにおいても公開している。

▼日本語研修コース

日本語研修コースは、前期は予備教育生（大学院進学予定の国費研究留学生）を、後期は予備教育生および教員研修留学生を対象とした15週のコースであり、レベル等によって、7～9コマの日本語科目の受講を義務付けている。

▼YCCS プログラム

YCCS プログラム生（1期生6名、2期生10名、3期生10名、4期生10名、5期生12名）が卒業要件となっている日本語授業を受講した。

▼学部教養教育：外国人留学生のための授業科目

教養教育科目「日本語中級」8コマ、「日本語上級」13コマ、「日本語演習」2コマ、「日本事情」1コマ開講し、年間延べ約130人の学生が受講した。

▼英語による特別プログラムの日本語科目

2018年度秋学期に以下の英語による特別プログラムの日本語科目を開講した。

- ・国際社会科学部財務省国税局提携による特別プログラム（MPE）
- ・インフラストラクチャー管理学 博士課程前期コース（IMP）

3. 各種留学プログラムの運営

▼日韓共同理工系学部留学生事業（日韓プログラム）

2018年度9月には第2次事業9期生7名の日韓生を受け入れ、半年間の予備教育を担当した。日本語クラスは、4技能を全体的に養成するクラスを4コマ、理工系日本語表現法1コマの5コマを必修としたほか、レベルに応じて計3コマを選択科目として履修させた。そのほか、日韓プログラムために特別開講した英語クラス1コマ、「留学生のための理工学入門」クラス2コマを履修させて、専門教育の充実を図った。

さらに、大学での理系科目講義に慣れるために、理工学部教員の指定する学部理系科目講義を1コマ聴講し、その予習・復習を個人チューターとともに行うよう指導した。そのほか、2回にわたり、千葉大学・東京工業大学との合同の講演会およびプレゼンテーション発表会を行った。

▼横浜国立大学国際プログラム・世宗大学校日本交流プログラム

韓国の世宗大学校と本学教育人間科学部の部局間協定に基づいた授業料徴収型短期留学プログラム「横浜国立大学国際プログラム・世宗大学校日本交流プログラム(通称世宗プログラム)」が、半年の試行期間を経て正式実施の6期目に入り、4月～2月までの11ヶ月間、23名の学生を受け入れた。学生は日本語科目16単位、専門科目4単位を履修、その単位は世宗大学校で互換単位として認定される。日本語教育部は教育人間科学部世宗プログラム委員および教務課基盤教育係の協力を得ながら、日本語を含む学務指導のみならず、生活指導を含む受け入れ業務全般を担当した。

▼日本語・日本文化研修留学生（国費）の受け入れ

2014年度より、日本語日本文化研修生（国費）の受け入れを開始した。1期生4名（ブルガリア1 インドネシア1 タイ2）、2期生3名（韓国、フランス、ベルギー）、3期生3名（ハンガリー、ミャンマー、韓国（大学推薦））、4期生

6名（ロシア、ブルガリア、モンゴル、シンガポール、ペルー、スロベニア（大学推薦））、5期生5名（ブラジル、モンゴル、カザフスタン、エストニア、イギリス（大学推薦））は、日本学プロジェクトほかとともに、日本語科目を履修した（各学期合計12単位以上）。修了論文のテーマはウェブサイトに掲載している。http://www.isc.ynu.ac.jp/about/program/japan_studies_project/

▼科目等履修生制度の実施

神奈川県下の大学に在籍する留学生を対象に、日本語科目を履修できる制度として、科目等履修生として受け入れる制度を作り2016年3月、9月に募集を行った。

▼YNU日本語サマープログラムの実施

2018年7月3日～13日にYNUサマープログラムが実施された。25名の留学生が参加し、本学で開講されている日本語の授業のほか、講義科目（日本語・英語）を受講した。その他にも日本文化体験や見学旅行等、日本文化に触れる機会もあり、2泊3日のホームステイプログラムにも参加した。プログラムの最終日には「自分の国/大学の紹介」テーマで英語・中国語・日本語によるポスター発表を行った。

▼横浜国立大学日本語・日本文化プログラム

2016年10月より新しく授業料徴収型短期留学プログラムである横浜国立大学日本語・日本文化プログラムを立ち上げた。国際戦略推進機構と相手大学の学部等との部局間協定を結び、修学期間は1年または6ヶ月とする。学生は原則として国際戦略推進機構が開講する日本語科目、および講義科目（日本語による日本事情科目、国際理解科目および英語によるYCCS科目）を年間20単位（6ヶ月の場合は10単位）履修する。その単位は派遣大学で互換単位として認定される。2018年10月には台湾の淡江大学から9名、文藻外語大学から2018年4月に5名、10月に5名の学生を受け入れた。文藻外語大学の5名は3月末で帰

国、4月からはさらに5名の学生を1年間受け入れる。日本語教育部はプログラム委員および学務部国際教育課国際教育係の協力を得ながら、学務指導のみならず、生活指導を含む受け入れ業務全般を担当した。なお、2019年度からは受け入れ部局が都市科学部になる。

▼ヨコハマ・カナガワ留学生就職促進プログラム

留学生就職促進プログラムは「大学が地域の自治体や産業界と連携し、外国人留学生の日本国内での就職率を引き上げることを目的とした事業」であり、日本全国に12拠点がある。本学は「横浜国立大学（YNU）では、横浜市立大学（YCU）、文部科学省、神奈川県、横浜市等とのパートナーシップで」本プログラムを運営している。

*本プログラムウェブサイト <http://www.career.japan.ynu.ac.jp/>

2019年2月2日、9日に本プログラムの一環として、「日本の職場でのコミュニケーションの課題を改善する」というテーマでNPO法人楽しい日本語の会との連携授業を行った（担当：横浜市立大学 鈴木綾乃准教授、本学日本語教育部 中川）。

▼国内・海外出張

- ・2018年8月12日～15日に金が韓国・ソウルに出張し、2018年度教育参画関連関係者打ち合わせおよび慶熙大学校国際教育院にて2018年度派遣予定日韓プログラム予備教育生に対する授業参画に参加した。
- ・2018年9月1日～4日に金が韓国・ソウルと京畿道に出張し、世宗大学にて関係者との世宗プログラムに関する意見交換および日韓プログラム推進フェアに参加した。
- ・2019年3月26日～28日に金と半沢が韓国・ソウルに出張し、世宗大学を訪問、2019年度世宗プログラム派遣予定者に対するプレイスメントテストを実施し、事前オリエンテーションを行った。また、関係者と協定更新、新規開講の授業について協議した。

・2019年3月6日～10日、四方田が都市科学部教員3名と淡江大学（台北）、文藻外語大学（高雄）に出張し、横浜国立大学日本語・日本文化プログラムについての説明会を行った。さらに関係者とプログラム運営に関する意見交換を行った。